

以文社

新刊のご案内

12月17日(取次搬入)発売予定!

佐藤 清郎 著

わが心のチェーホフ

チェーホフは、「最も平凡な日常生活」を描いて、人間の、この世の真実に迫った作家です。彼が求めた公正、真実、自由、美(清さと言うべきか)は、時代がどう変わっても、人間が人間らしくありつづけるかぎり、人間の目標であることを失わないはずです。名著『チェーホフの生涯』から半世紀、94歳の著者が書き溜めたエッセイ風のチェーホフ論です。

【目次】

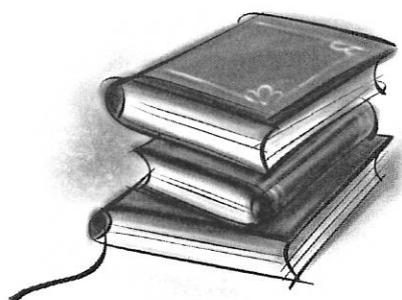
チェーホフの孤独
 チェホンテからチェーホフへ
 チェーホフの醒めた眼
 「退屈な話」という題名訳
 『賭け』の広がり 生き方の選択
 チェーホフとストア哲学 『六号室』の世界
 「幸福なんてない」(『手帖』)
 『黒衣の僧』チェーホフとドストエフスキー
 チェーホフと『伝道の書』

『三人姉妹』のテーマ チェーホフの本音
 「どっちだって同じさ」 加藤周一の観劇評
 『桜の園』の時代性と永遠性
 再び『桜の園』について カターエフ説再考
 「自然法爾」(親鸞)と「自然法則」(チェーホフ)
 横顔のチェーホフ
 チェーホフ・その死
 チェーホフ小伝 生涯とその時代
 チェーホフと神西清
 あとがき

佐藤 清郎 (さとう せいろう) 著

1920年生まれ。哈爾(ハルビン)学院、大同学院卒。大阪大学教授、早稲田大学客員教授などを歴任。

主著:『チェーホフの生涯』(筑摩書房、1966年)
 『若きゴーリキー』(筑摩書房、1968年)
 『チェーホフの文学』(筑摩書房、1972年)
 『ゴーリキーの生涯』(筑摩書房、1973年)
 『ツルゲーネフの生涯』(筑摩書房、1977年)
 『チェーホフ芸術の世界』(筑摩書房、1980年)
 『チェーホフ劇の世界』(筑摩書房、1980年)
 『チェーホフへの旅』(筑摩書房、1987年)
 『孤愁の文人』(ブーニン)(岩波ブックセンター、1990年)
 『観る者と求める者』(武蔵野書房、1993年)
 『二葉亭四迷研究』(有精堂、1994年)
 『トルストイ 心の旅路』(春秋社、2001年)



四六判 上製カバー装 224頁 本体価格:2,400円 (定価:2,592円)

希望陳列コーナー:文芸評論・外国文学

以文社 ISBN 978-4-7531-0322-5 C0097 本体価格:2,400円 (定価:2,592円)

帳合・番線	ご希望冊数	書名
		<h2>わが心のチェーホフ</h2> <p>佐藤 清郎 著</p>

※指定配本の都合上12月10日までにFAXまたは電話にてご返信お願い致します。

101-0051 千代田区神田神保町2-12 FAX:03-6272-6538 TEL:03-6272-6536 <http://www.ibunsha.co.jp/>